



薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会 分科会開催のお知らせ

皆様、いつもお世話になっております。厳寒の折、いかにお過ごしでしょうか。

さて、本年度もあと2ヶ月余りとなりました。つきましては、本年度の協議会活動を会員の皆様と共有し、さらに今後の活動展開につなげていくために、下記のように、5つの分科会全てを、2日間にわたってそれぞれ開催致します。

分科会とは言っていますが、皆様が登録していらっしゃる分科会以外への参加もしていただけます。また、複数にご参加いただくことも可能です。

竹バイオマス活用に関する5つのテーマを深め、さらなる可能性を探るための各分科会のプログラム概要は下記の通りです。今後のビジネスのヒントを得、また本市内外との連携による事業展開を検討する場として、そして他の企業や関係機関の皆様と意見等交わす場として、是非積極的にご活用ください。

記

平成29年1月24日(火)

【第4分科会】竹バイオマス・エネルギー分科会	13:30 ~ 15:00
コミュニティによる竹の有効活用の観点から、竹を平地で栽培し、ビジネスを展開している栃木県宇都宮市の若山農場の視察結果を紹介させて頂くとともに、本協議会会員であるテス・エンジニアリング(株)九州支店長 刑部様に「放置竹林対策と地産地消」についてご講演いただき、放置竹林等から得られる竹の活用策の1つとして、地産地消によるエネルギー利用の方向性や課題などを議論します。	
【第5分科会】竹の収集・処理地域システム分科会	15:15 ~ 16:45
「放置竹林の整備には費用がかかる」と言われていますが、具体的な費用については把握できていない状況です。そこで先月、放置竹林の伐採・収集を機械と人力の2パターンで実験しました。この実験結果について鹿児島大学の寺岡行雄教授にご講演いただき、費用削減の観点から今後の放置竹林の効率的な整備方法について議論していきます。	

平成29年2月2日(木)

【第2分科会】生活市場向け製品分科会	13:00 ~ 14:20
国内唯一の竹製突板製品を中心に竹集成材をフローリングや建具として展開してきている(株)竹田木材工業所の代表取締役竹田様に「竹の特性と可能性を活かした製品展開について」ご講演いただき、竹を日常の生活の中に展開していくための市場開拓の先行事例と共に、付加価値の高い製品開発の理解を深めることを目指します。	
【第3分科会】竹CNF(セルロースナノファイバー)活用促進分科会	14:35 ~ 15:55
CNFの製造や利用に関する様々な動きと共に、今年から本格的生産が川内工場で開催される中越パルプ工業(株)のCNFの特徴をできるだけ幅広くできるだけ確実に理解をし、また今後に向けた多様な可能性を議論していく場と致します。	
【第1分科会】産業用高機能材料分科会	16:10 ~ 17:30
「竹を、産業用・工業用資材として利用していく可能性は!？」をテーマとし、本協議会アドバイザーにも着任いただいている九州工業大学の西田治男教授にご講演いただき、工業資材としての多様な可能性を知り、またそこで想定される事業活動の理解を深めて行く場として開催致します。	

※ いずれの分科会についても、ご参加は下記事務局に事前登録をお願い致します。

【事務局】 薩摩川内市 企画政策部 新エネルギー対策課 (担当:川畑)
電話:代表 0996-23-5111(内線5522)、直通:0996-22-8115(音声案内後5522)
Email: sin-ene@city.satsumasendai.lg.jp



薩摩川内市新エネルギー対策課 川畑行
FAX 0996-25-1704

※送付状は不要です。そのまま送信してください。

薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会 分科会出欠報告書

団体名 : _____
御氏名 : _____

■ 出席を希望する分科会 (※該当する分科会の出欠欄に○を記入してください。)

【平成29年1月24日(火)】

【第4分科会】竹バイオマス・エネルギー分科会	13:30 ~ 15:00	出欠欄
<ul style="list-style-type: none"> ● 竹を平地で栽培し、ビジネスを展開している栃木県宇都宮市の若山農場の視察結果の紹介 ● 本協議会会員であるテス・エンジニアリングによる「放置竹林対策と地産地消」についての講演 ● 地産地消によるエネルギー利用の方向性や課題などについての議論 		
【第5分科会】竹の収集・処理地域システム分科会	15:15 ~ 16:45	出欠欄
<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島大学の寺岡行雄教授による放置竹林の伐採・収集の機械・人力2パターンでの歩掛把握実験の結果についての講演 ● 費用削減の観点から今後の放置竹林の効率的な整備方法についての議論 		

【平成29年2月 2日(木)】

【第2分科会】生活市場向け製品分科会	13:00 ~ 14:20	出欠欄
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内唯一の竹製突板製品を中心に竹集成材をフローリングや建具として展開してきている(株)竹田木材工業所の竹田明夫代表取締役による「竹の特性と可能性を活かした製品展開について」の講演 		
【第3分科会】竹 CNF(セルロースナノファイバー)活用促進分科会	14:35 ~ 15:55	出欠欄
<ul style="list-style-type: none"> ● CNFの製造や利用に関する様々な動きと共に、今年から本格的生産が川内工場で開始される中越パルプ工業(株)のCNFの特徴をできるだけ幅広くできるだけ確実に理解をし、また今後に向けた多様な可能性についての議論 		
【第1分科会】産業用高機能材料分科会	16:10 ~ 17:30	出欠欄
<ul style="list-style-type: none"> ● 「竹を、産業用・工業用資材として利用していく可能性は!？」をテーマとし、本協議会アドバイザーにも着任いただいている九州工業大学の西田治男教授による講演 ● 工業資材としての多様な可能性を知り、またそこで想定される事業活動の理解を深める。 		

【出席者】

役職名	氏名

【随行者】 ※随行者の方がいる場合、記入してください。

役職名	氏名